

叙勲者をご紹介 おめでとうございます

危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章

みつや としかず
三屋 俊一 さん(73) =毛屋町=

昭和51年に警察官となり、県警察学校長などを務めました。主に警備部門で情報収集に努め、治安維持に尽力しました。

防災力UP！

もしもの時も温かく！ ポリ袋でパッククッキング

災害時の偏食や負担を減らすため、耐熱性ポリ袋を使って簡単に調理できる「パッククッキング」をご紹介します。

※9月28日に開催した勝山男女共同ネットワーク主催「親子防災パッククッキング講座」の内容をもとに紹介しています。

主なポイント

- 普段の食材で作れる
- 少ない水で調理できる
- 洗い物を減らせる
- 普段の食事にも活用できる



調理工程（サツマイモごはんを例にご紹介します）

STEP1 材料を入れる

- ①米（洗わない）と水を耐熱性のポリ袋にいれ30分置く。
- ②1cm角に切ったサツマイモと塩を入れ混ぜる。

STEP 2 空気を抜いて結ぶ

- ③鍋に水を1/3程度張り、材料を入れた袋を入れ、空気を抜きながら袋の口を結ぶ。

STEP 3 湯せんする

- ④火をつけ沸騰したら火を少し弱め、沸騰を保ちながら20分煮る。袋を取り出し10分蒸らして完成！

※ サツマイモごはん（1人分）の材料… 米 40g・サツマイモ 40g・水 60ml・塩 少々
※調理には食品用・耐熱性のポリ袋を使用し、商品の耐熱温度や使用方法を確認しましょう



講師 中島 早苗 氏
野菜ソムリエ上級プロ、防災士、食育防災アドバイザー

温かい食事はエネルギーになります。日常生活の中で、少し長持ちする食材を買い置きし、日頃使いながら災害に備えましょう。

参加者に聞きました！

思ったより、簡単にできました。災害時にも挑戦してみたいと思います。

(左)橋爪さん
(右)笹嶋さん



得する街のゼミナール 第10回「勝山まちゼミ」 受講者募集

お店とお客さんの交流を深める「勝山まちゼミ」が、市内各店舗で開催されます。

食べる、作る、学ぶ、健康などをテーマに、専門店の店主がプロならではの技や知識を教える少人数制のミニ講座です。ぜひご参加ください。

期 間▶11月1日(日)～30日(月)

受付開始▶10月25日(日)～

講 座 数▶26講座

※申し込みは直接各店まで

※パンフレットは商工会議所窓口や

各店舗にも設置しています

問 勝山商工会議所 ☎88-0463



詳細はこちら



昨年の
講座の様子



～地域文化を掘り起こそう～ ⑦

市史編纂室 山田 雄造

荒土中学校

最初に簡単に校史をたどっていきます。昭和22年(1947)5月1日、学制の改革により荒土村立荒土中学校として、荒土小学校と併設し誕生しました。24年4月1日、独立校舎の竣工と同時に専任校長が赴任し、荒土村立荒土中学校として独立します。同29年9月1日、勝山市の誕生で勝山市荒土中学校と改称、32年9月30日に北部中学校との統合のため廃校となりました。

次に校舎の変遷をたどって見ます。当初は組合立小学校設立が叫ばれ荒鹿中学校と称し、22年12月に地鎮祭を行い設立されましたが、場所の問題で組合立不可能となり荒土村のみの経営となりました。溜所(場所のことか)細野口農兵隊にあったものを利用し、23年12月に落成式を行い翌年農具舎が附設されました。以後、足洗場、裁縫室、養蚕室、音楽室・理科室などの増改築移築が行われました。



全体的な教育目標や全人・生産・健康教育の面で独自の目標が示されています。例えば「村を愛し村を興す生徒の育成」「芸能文化を解する明るい生徒」「自己の身体を実際に知る生徒」などユニークな目標が掲げられています。他の中学校には見られないものです。

昭和22年度と31年度の生徒数をあげておきます。

年度	1年	2年	3年	計	男	女	学級数
昭和22年度	62	47	18	127	66	61	4
昭和31年度	67	76	74	207	111	96	6

▲荒土中学校生徒数・学級数